

「荒尾市国土強靱化地域計画（案）」に対するパブリックコメントの結果と対応方針

【実施期間】 令和2年5月1日～令和2年5月29日

【実施場所】 荒尾市役所庁舎内：（1階）総合案内 （2階）総合政策課、情報公開コーナー

荒尾市役所庁舎外：市民サービスセンター メディア交流館 小岱工芸館 みどり蒼生館 万田炭鉱館
 荒尾総合文化センター 市立図書館 荒尾市ホームページ

【実施結果】 いただいたご意見：6件

		ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	P.1	<p>・計画の位置づけについて</p> <p>計画の位置づけに関するイメージがつかみにくい（防災計画とどのような点が異なるのか）。他の文書を見なくても計画をイメージしやすい視覚的な説明を加えることで、強靱化の一翼を担う荒尾市民、産業界等の円滑な理解と自主・効果的な参画を期待できる。</p>	<p>ご指摘のとおり、防災計画との相違点が分かりにくい部分があると思いますので、いただいたご意見を踏まえまして、「はじめに3地域防災計画と強靱化計画」として項目を追加（以下繰下げ）いたします。</p>
2	P.2	<p>・計画の基本的な考え方について</p> <p>自助・共助・公助の適切な組み合わせについて、本文中で表現はされているが、「官頼みでなく、自助・共助も必要である」点を、簡単なイラストなどを活用して強調することで、市民の自発的参加の雰囲気醸成できるのではないか。</p>	<p>ご指摘のとおり、「官頼みでなく、自助・共助も必要である」ことは、市においても同様の認識を持っているところです。しかしながら、本計画は市域の国土強靱化に関する市の取り組みの指針を示したものでありますので、「自助・共助」に関する部分につきましては、今後、地区防災計画との整合を図りながら、推進を図って参ります。</p>

3	P. 4	<p>本市の地域特性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地域とのかかわりの記載について ・交通インフラ（道路）に関する記載について ・交通インフラ（港湾）に関する記載について ・災害時の拠点になりうる施設の記載 ・主要な交通インフラと災害拠点の図示について 	<p>本計画においては、国や県の計画との調和を図る観点から、本市の地理的特性や自然環境を踏まえ、主に本市における自然災害に対するリスクを掲載しているところです。</p> <p>したがって、ご指摘いただきました「他地域とのかかわり」や「インフラ面」に関する部分につきましては、本計画への記載は見送らせていただきますが、貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます、計画の推進に努めて参ります。</p>
4	P. 14 ～ P. 46	<p>強靱化の推進方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集資料のオンライン共有の検討について ・史跡の保存や設置について ・防災無線に関する言及 ・防災アプリの仕様について ・災害発生時の情報収集協力者の獲得について ・災害切迫（発生）時の避難所要時間の目安の提示 ・自発的情報発信について ・掲示物、配布物へのピクトグラムの掲載 ・物資輸送ルートの確保に向けた港湾整備の追記 ・臨時ヘリポート設営の準備 ・各拠点のキャパシティや人・車の流れを考慮した各拠点の機能分担・整理 ・実際に即した訓練の計画的実施と KPI への追加について ・職員の宿直勤務に必要な施設・物資の準備 ・公用車等の PHV 化推進 	<p>本計画は、国土強靱化を推進するうえでの目標を明確化したものであり、計画の策定にあたっては、リスクシナリオを設定したうえで、脆弱性の評価を行い、それに対する市の推進方針を設定いたしました。</p> <p>ご指摘いただきましたご意見は、市の推進方針に対する個別の事業に関する部分となりますので、本計画への記載は見送らせていただきますが、先進的な内容等も多く含まれているため、貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます、計画の推進に努めて参ります。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲用水の確保用資材（ポンプ、浄水剤）について ・ 電子機器の保護について ・ 市職員の大学院研修機会の確保について 	
5	P. 47	<p>KPI について</p> <p>KPI において、公共施設の耐震化や施設の保全率などの目標値が低いように見える。また、地籍調査については面積で示されており、調査が必要な全面積に対する達成度が不明である。KPI の各目標は、示されている数値で十分なのか、それとも 100 %を理想とするが期間や予算的制約により達成が難しく、中間目標として暫定的に設定したという位置づけなのかがわからなかった。</p>	<p>記載しております KPI については、評価結果に係る推進方針に向けて、所管課において、現状値を把握し、計画の終期である令和 7 年度までの達成目標を定めたものです。</p> <p>そのため、様々な状況を鑑みたうえで、計画推進のための具体的な取組みを通じて、期間内に実現可能な目標値を設定しているところです。今後は、計画の進捗状況を定期的に把握したうえで、所管部署を軸としつつ、国・県・民間事業者と連携し、全庁的に計画を推進して参ります。</p>
6	P. 14 ～ P. 46	<p>総合的な指針として理解している。具体的な実践を期待する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5G を活用した雨量計の設置 ・ 南関町、玉名市方面からの県道確保および荒尾港の活用 ・ 井戸、農業用給水施設の提示 ・ 家屋の耐震化、火災の延焼防止策の推進 ・ 避難所への小型発電機や蓄電池の設置 ・ 上水道給水施設への自家発電装置の設置 ・ 学校の冷暖房用ガスの転用 	<p>ご指摘のとおり、本計画は、国土強靱化を推進するうえでの目標を明確化したものであり、計画の策定にあたっては、リスクシナリオを設定したうえで、脆弱性の評価を行い、それに対する市の推進方針を設定いたしました。</p> <p>ご頂戴いただきましたご意見は、市の推進方針に対する個別の事業に関する部分となりますので、本計画への記載は見送らせていただきますが、実用的な内容等も多く含まれているため、貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます、計画の推進に努めて参ります。</p>